

茨城県立古河第二高等学校 教科シラバス

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	コミュニケーション技術	2単位（70時間）	福祉科・1年
教科書（発行所）	コミュニケーション技術（実教出版）		
教科書以外の教材（発行所）	コミュニケーション技術（中央法規）		
目 標	○コミュニケーションに関する基礎・基本的な知識と技術を習得し、介護福祉援助活動で活用する能力と態度を身につける。 ○高齢者や障害者など介護を必要とする人への支援の中で、コミュニケーション技術を活用する能力と態度を身につける。		
評価方法	☐授業への参加姿勢、授業ファイルの記載充実度。課題・宿題等の提出状況と内容充実度。 ☐定期考査における得点。 ☐演習への参加姿勢と内容、演習プリントの内容と充実度。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
4	オリエンテーション	・使用教材と授業概要を知る。	☐ ファイル作成
5	第1編 福祉実践におけるコミュニケーション 第1章 コミュニケーションの意義と役割	・介護従事者として人間関係に必要なコミュニケーションの意味と役割について理解する。	☐ 講義
6	第2章 コミュニケーションの基本技術	・言語・非言語のコミュニケーションの違いや方法について理解する。 ・利用者の心に変化を与えるコミュニケーションを理解する。	☐ 講義 ☐ 演習 ☐ グループワーク
7	第2編 サービス利用者や家族とのコミュニケーション 第1章 サービス利用者や家族との関係づくり	・ケアの場面からコミュニケーション技術の実際を理解する。 ・家族に対する相談・助言の際のコミュニケーションを学ぶ。	☐ 講義 ☐ 演習 ☐ グループワーク
8	～夏期休業～		
9	第2章 サービス利用者の応じたコミュニケーション (1)高齢者とのコミュニケーション (2)障害とコミュニケーション	・高齢者とのコミュニケーションの基本を理解する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
10	(3)視覚障害のある人とのコミュニケーション (4)聴覚障害のある人とのコミュニケーション	・様々な障害のある利用者とのコミュニケーションの基本を理解する。	
11	(5)言語障害のある人とのコミュニケーション (6)運動機能障害のある人とのコミュニケーション		

12	(7)知的障害のある人とのコミュニケーション (8)発達障害のある人とのコミュニケーション (9) 高次脳機能障害のある人とのコミュニケーション		
1	(10)精神障害のある人とのコミュニケーション (11)認知症の人とのコミュニケーション		
2	第3編 福祉実践におけるチームのコミュニケーション 第1章 記録	・記録の種類、方法について理解する。 ・客観的な記録により利用者理解につながることを理解する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
3	第2章 チームによる連携	・多様な介護場面におけるチームとしての連携と情報の共有化について基礎的な知識と技術を身につける。	☐ 講義 ☐ グループワーク
授業の受け方・留意点		●授業内容や指示の聞き逃しを避けるため、欠席しないように努めましょう。 ●演習やグループワークには積極的に参加し、プリントは必ず完成させましょう。 ●考査前には十分に時間を使って復習しましょう。 ●プリントや課題、ファイルなどは指示された期日を守って提出しましょう。	